

いつも大変お世話になっております。

下記の要項で作成頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

水落建材株式会社 行 FAX:03-3413-9617

施工業者名			
工 事 名			
現場所在地			
現場責任者	様 ㊟	TEL	
		FAX	
作 成 日		試験課 FAX	
提出期限		作成部数	部

送り先 ㊟ ㊟

工事内容	打 込 み 箇 所									
	納 期									
	数 量 (m ³)									
確認事項	① 設計基準強度 Fc(N/mm ²)									
	② 計画供用期間の級 耐久設計基準強度Fd	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	標準 長期 ()	
	③ 品質基準強度 Fq(N/mm ²) ※1									
	④ 気温による補正値 T(N/mm ²)	0 3 6	0 3 6	0 3 6	0 3 6	0 3 6	0 3 6	0 3 6	0 3 6	
呼び方	⑤ 構造体強度補正値 S(N/mm ²)	3 6	3 6	3 6	3 6	3 6	3 6	3 6	3 6	
	⑥ 調合管理強度 Fm(N/mm ²) ※2									
	適用期間 ※3									
呼び方	コンクリートの種類	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	普通 軽1 軽2	
	呼 び 強 度									
	ス ラ ン プ									
	粗骨材の最大寸法									
指定事項	セメントの種類	N M BB	N M BB	N M BB	N M BB	N M BB	N M BB	N M BB	N M BB	
	単位容積質量 (軽量コンクリート)									
	呼び方を保証する 材令(日)									
	水セメント比W/Cの 目標値の上限値(%)									
	単位セメント量の目標 値の上限値(kg/m ³)									
	単位水量の目標値 の上限値(kg/m ³)									
	流動後のスランプ 増大量(cm)									
混和材料の種類										

添付書類
備考

※1 旧JASS5(2003年版)を適用する場合は、①と②の大きい方の値に3N/mm³を上乗せした値。
新JASS5(2009年版)を適用する場合は、①と②の大きい方の値。
※2 (1)旧JASS5(2003年版)を適用する場合は、③+④の値。
(2)新JASS5(2009年版)を適用する場合は、③+⑤の値。
※3 ※2の(1)又は(2)のいずれかを適用するかによって適用期間が異なるので注意。

いつも大変お世話になっております。適用年度により補正が異なりますので必ずご記入下さい。土木配合の場合は不要です。
下記の要項で作成頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

水落建材株式会社 行 FAX:03-3413-9617

施工業者名	〇〇〇〇株式会社			JIS伝票はこちらの施工業者名 および現場名で発行されます。 お間違のないようお願い致します。
工事名	〇〇邸 新築工事			
現場所在地	世田谷区代田1-4-6			
現場責任者	様 ㊟	TEL		
		FAX		
作成日		試験課 FAX		
提出期限		作成部数	3 部	

送り先 ㊟ 156-0051
東京都世田谷区若林2-41 水落建材株式会社 担当者 ※打設時持参も可能です

工事内容	打込み箇所	基礎・基礎梁		土間													
	納期	〇/〇~△/△	□/□~◇/◇	全体工期ではなく、生コン工期もしくは打設予定時期をご記入下さい。													
確認事項	数量 (m ³)																
	① 設計基準強度 Fc(N/mm ²)		21		18												
② 計画供用期間の級	標準	長期 ()	標準	長期 ()	標準	長期 ()	標準	長期 ()	標準	長期 ()	標準	長期 ()					
耐久設計基準強度Fd	24	30 ()	24	30 ()	24	30 ()	24	30 ()	24	30 ()	24	30 ()					
③ 品質基準強度 Fq(N/mm ²) ※1		24															
④ 気温による補正值 T(N/mm ²)	0	3	6	0	3	6	0	3	6	0	3	6					
⑤ 構造体強度補正值 S(N/mm ²)	3	6	3	6	温度補正值Tあるいは構造体補正值Sを適用年度にあわせてご記入下さい。												
⑥ 調合管理強度 Fm(N/mm ²) ※2	27 30																
適用期間 ※3																	
呼び方	コンクリートの種類	普通	軽1	軽2	普通	軽1	軽2	普通	軽1	軽2	普通	軽1	軽2	普通	軽1	軽2	
	呼び強度	27 30		18													
	スランブ	18		18													
	粗骨材の最大寸法	20		20													
	セメントの種類	N	M	BB	N	M	BB	N	M	BB	N	M	BB	N	M	BB	
指定事項	単位容積質量 (軽量コンクリート)																
	呼び方を保証する 材令(日)																
	水セメント比W/Cの 目標値の上限値(%)	55															
	単位セメント量の目標 値の上限値(kg/m ³)	270															
	単位水量の目標値 の上限値(kg/m ³)	185															
	流動後のスランブ 増大量(cm)																
	混和材料の種類	AE															

添付書類
備考

※1 旧JASS5(2003年版)を適用する場合は、①と②の大きい方の値に3N/mm³を上乗せし、新JASS5(2009年版)を適用する場合は、①と②の大きい方の値。
※2 (1)旧JASS5(2003年版)を適用する場合は、③+④の値。
(2)新JASS5(2009年版)を適用する場合は、③+⑤の値。
※3 ※2の(1)又は(2)のいずれかを適用するかによって適用期間が異なるので注意。

その他流動化剤、防水剤、膨張材等を投入される場合、独自の補正期間を使用する場合、補正なしの通年配合にて作成する場合等は備考へ内容をご記入下さい。